

柴田町立船岡小学校 「人と環境に優しい自動車」

○期 日 令和3年10月20日(水)

○対 象 柴田町立船岡小学校
第5学年88名

○講 師
トヨタカローラ宮城(株)地域貢献推進室
高橋氏, 佐藤氏, 大原氏

指導補助

総務室 板橋氏
サービス部 中村氏
営業企画室 上川名氏
IT営業推進部 菅原氏
アムシス柴田店 吉田氏

○内 容
第5学年「人と環境に優しい自動車」
・自動車の知識習得及び自動車製造工程の理解
・車両説明, 現車見学

○児童の声

私は、自動駐車できる車に乗せてもらいました。中から見て2つのボタンを押すだけで駐車できるなんてすごいなあとと思いました。

福祉車の車椅子に乗ったまま乗れる車では、何もしないと重かったけれど、工夫されていて、ボタン1つで坂をゆるやかにできました。そのあと車いすを押してみたらスムーズにできました。このことから、お手伝いする人のためへの工夫もされているということを知りました。(斎藤由奈)



この授業で今は車のことだけではなくて、人や環境のことも考えて作られている車を自分の目で見ることができました。地球温暖化が進まないように願いを込めてつくられた自動車がすごいと思いました。自動駐車ができる車にも乗ることができました。手も足もはなしているのにしっかりと駐車した車を見て、早く免許をとってこんな自動車を運転したいと思いました。(桜井心結)

地球温暖化対策の一つ、カーボンニュートラルの取組として、1年間でたくさん自動車を捨てていたものを、今では、約99%リサイクルしていると聞いて、とても工夫しているんだなあと思いました。車イスの人が乗る車は、シートベルトを工夫しており、介護している人も、介護されている人も安心できると思いました。コペンという車はドア以外プラスチックできていてとてもびっくりしました。上と後ろが合体して屋根が開いて驚きました。自動運転はいつか乗ってみたいと思うくらいすごかったです。(曳地香音)



トヨタカローラの授業を受けて、やっぱり印象的だったのは、環境に合わせて進化し続けてきた環境にやさしい自動車です。水素自動車や人にも優しい自動車を見て、環境を守る車を、日々開発していることが、一目で分かりました。ですが、一番大切なのは、私たち人類一人一人が、環境を守る取組をすることです。この授業を機会に、環境を守る取組を強化していきたいと思います。この環境に優しい自動車を通して、環境を守る大切さがわかったので良かったです。地球の未来を考えて、車を開発することは、とても大変だと思いますが、未来を信じがんばってください。

(門馬心陽)

屋外の授業で、車のいろいろなところをやさしくたたく、音がちがうところを探すのがとてもおもしろかったし、ドアのところプラスチックで作られていることが分かりました。足が不自由な人向けに作られている車を見て、とても安全に作られていてすごいなと思いました。

教室での授業では、車の歴史を教えてもらい、未来の子供のために水素自動車にかえていることを学びました。最後に空を飛ぶ飛行機の話聞いて、私も乗ってみたいです。(天野星愛)

先日の授業でわたしが学んだことは、たくさんありますが、特に心に残っているのは人にやさしいウェルキャブ車についてです。足が不自由で車いすを使用している人が乗り降りしやすくするための工夫や、その車いすを押す人が押しやすくするために坂が少し低くなる工夫など、1つの車にたくさんの工夫がされていることが分かり、とても勉強になりました。燃料電池自動車は炊飯器やテレビが使えるようになっていることも初めて知ったので勉強になりました。(水戸なな)

○講師から

当日は風が強く、児童やお手伝い頂いた先生方、生涯学習課の皆さんも大変だったと思います。大変ありがとうございました。そんな天候の中でも児童は目を輝かせてこちらの話に興味を持って聞いてくれました。このような授業を何回開催しても、「あそこはこうすれば良かった。」のような反省点が出て来ます。授業は難しいですね！時間の制約がなければ、自動駐車などは全員が乗車体験できれば良いのですが……。それでも、自動車自体に小学校5学年が興味を持ってくれる事が最大の目的なので、これからも授業の内容や進行など、当社のスキルアップをしていきます。ありがとうございました。

トヨタカローラ宮城株式会社
地域貢献推進室 主幹 高橋 浩 氏

○担当の先生から

これまで大衡工場には何度かお邪魔させていただき、自動車の製造工程について深く学ぶことができていたのですが、今年度はそれができないということで、子供たちの学びの部分で不安に感じていました。だからこそ、今回のような時間を作っていただき、とてもありがたかったです。大衡工場の見学の際は車の製造の面で深く知ることができたように思うのですが、今回は工場での実際の様子も説明していただいた上に、水素自動車や福祉車両、最先端の技術を用いた車両まで間近で見せていただいたことで、車に携わる人の努力や思いにまで触れて学ぶことができたように思います。教科書だけでは得ることができない、実感を伴った深い学びをすることができました。



○教育事務所から

船岡小学校5学年を対象にした「人と環境に優しい自動車」では、トヨタカローラ宮城株式会社の皆さんが、「ものづくり」「環境問題」「人づくり」「地域連携」等のキーワードを柱として、講義と実演をしてくださいました。児童は、スライドや資料による説明で知識を深め、現車に触れ、乗車することで自動車の仕組みや環境問題等への工夫点について学びました。また、車椅子のまま乗車できる福祉車両や積載車など普段見ることができない自動車にも触れることができました。児童はこの体験を通して、「ものづくり」「環境問題」「福祉」について深く考えることができました。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)